



ROTARY CLUB OF MITO

THE JOYO BANK, LTD.

2-5-5 MINAMI-MACHI MITO IBARAKI 310-0021 JAPAN

029 (225) 4820 FAX: 029 (225) 4825



雑誌委員会

委員長 岡崎恵一郎

雑誌委員会 月報 (2016年2月)

ロータリーの友 2016年2月号より注目記事をピックアップしました。詳細はロータリーの友2月号をご覧ください。

横組み P.3 【RI 会長メッセージ】

『ロータリーで旅をする』

ロータリーで旅をするとき、私たちはいつもと違う視点や目的を持ってでかけると、ラビンドラン RI 会長はおっしゃいます。見知らぬ土地を訪れたとしても、そこではロータリアンが出迎え、歓迎してくれます。その後、故郷に戻ると、見慣れた地元を新たな角度から見ることができます。

日本中にそして世界中に友を持つことは、学生時代でも、業界の交流においても大切なことだと思います。私たちロータリアンは、まだまだ世界と繋がる可能性を持っています。そして、子供たちを支援することによって、次の世代にその様なチャンスを与えることもできます。



横組み P.2

『2012-13 年度 日本から三人目の国際ロータリー会長が就任』

日本から初めて国際ロータリー (RI) 会長に就任したのは 1968-69 年度「東ヶ崎 潔 (とうがさき きよし)」氏。お二人目が 1982-83 年度「向笠廣次 (むかさ ひろじ)」氏。それ以来、30 年ぶりに RI 会長に誕生した日本のロータリアン待望の RI 会長が「田中作次 (たなか さくじ)」氏です (八潮 RC)。

田中氏が掲げた RI テーマは「奉仕を通じて平和を」でした。

まだ多くの会員にとって記憶に新しい出来事ですが、2013 年度以降入会の会員の皆さんは、ぜひ、この機会にご一読下さい。

横組み P.12

『中学生の救急蘇生講座 継続 20 年の協賛』

浜松南 RC では、浜松市医師会が実施している中学生を対象とした「救急蘇生講座」を 20 年にわたって支援しているそうです。

緊急事態に際し、救急車が到着するまでの救急蘇生は非常に重要性です。皆様も各企業で、救急蘇生法の研修を実施することもあるかと思いますが。スポーツ事故などが多い中学生からその知識を持つことはすばらしいですね。



横組み P.20

『世界のロータリーニュース ケニア』

ケニアのマティンダ氏は、RC の奨学金で留学した際アメリカで見た自然センターにならい、ケニアにも「野生動物センター」を開設したそうです。

ライオン・キリン・ヒョウなど動物が激減し、また、国立動物保護区への入場は現地の人には高額なため、ケニアの人々に動物を見る機会を与えたいとの思いからだそうです。